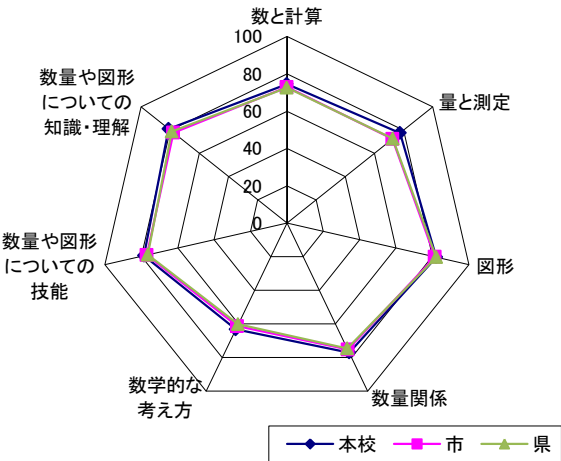


宇都宮市立西原小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分              | 本年度  |      |      |
|-----|-----------------|------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 数と計算            | 74.5 | 72.9 | 72.6 |
|     | 量と測定            | 77.5 | 72.4 | 72.6 |
|     | 図形              | 82.1 | 81.4 | 82.1 |
|     | 数量関係            | 77.0 | 75.2 | 74.6 |
| 観点  | 数学的な考え方         | 63.2 | 61.3 | 60.2 |
|     | 数量や図形についての技能    | 78.5 | 77.0 | 76.4 |
|     | 数量や図形についての知識・理解 | 81.1 | 77.8 | 78.8 |



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況                                                                                                                                                                         | 今後の指導の重点                                                                                                                                            |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数と計算  | 平均正答率は県や市と同程度である。<br>○繰り上がりや繰り下がりのある計算などの基本的な計算や数の相対的な大きさについて理解している。<br>●余りのある2位数÷1位数の計算に課題があった。また、問題に示された条件に合う数値を選び理由を説明する問題についても、県や市の傾向と同様、正答率が低かった。                         | ・基本的な計算が定着するよう、教科書やドリルを活用していく。また、授業で扱う単元以外の計算問題なども朝の学習や家庭学習で継続的に練習していく。<br>・授業の中で自分の考えを図や数直線、式を使ってノートに表したり、友達同士で説明し合い、互いの考えを書き加えたりする活動を積極的に取り入れていく。 |
| 量と測定  | 平均正答率は県や市よりも上回っている。<br>○長さや重さの単位と目盛の読み方、時間の分と秒の単位の関係について理解している。<br>●身近にあるものの重さを推察する問題、2つの映画の上映時間を求め比較する問題は、県や市の傾向と同様、正答率が低かった。長い文章題になると、問題の意味を理解し、必要な数値を求めることに難しさを感じていると考えられる。 | ・長さや重さの単位については、日常生活でも意識して指導するとともに、学校の算数コーナーで体験活動を取り入れていく。<br>・文章題自体に苦手意識をもたないよう、文章を読み解くような問題にも取り組むとともに、何を答えればいいのか、どの数値をどう使うのかなど、問題を解きながら指導を繰り返していく。 |
| 図形    | 平均正答率は、他の領域と比べて高い。<br>○正三角形の定義や二等辺三角形のかき方もよく理解している。コンパスを丁寧に扱い、図形を正確にかけよう指導してきた成果であると考えられる。<br>●円と球では、半径と直径の関係について理解することに課題が見られる。                                               | ・今後もコンパスや定規の扱い方を丁寧に指導し、三角形・四角形の性質についても考えながら誤差の少ない作図ができるよう指導を徹底していく。<br>・具体物を操作させる活動を意図的に取り入れて、円や球・三角形等の図形の見方考え方を伸ばす指導を行っていく。                        |
| 数量関係  | ○棒グラフでは、1目盛が表している数量を読み取り、それぞれの棒グラフの数量を読み取ることがよくできている。<br>●わり算やひき算の文章問題から、数量関係を理解し、問題の場面に合ったテープ図を考えることに課題がみられる。                                                                 | ・文章を読み取り立式する際には、言葉や具体物、数直線や図などと関連させ、多面的に理解できるようにしていく。また、他教科と関連を図りながら、グラフや資料を分類し整理する力を伸ばす指導を今後も行っていく。                                                |
|       |                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                     |